



田尻町議会だより

たじりの風

8249

Vol.93

平成24(2012)年
11月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



10月6日 秋祭り

撮影：田尻写真クラブ

主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 5 頁
- ★ 意見書・請願 8 頁
- ★ この人にインタビュー 8 頁

一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 吉見ノ里踏切り拡幅の進捗状況は
- 吉開 育子 議員 1. 福祉風呂の休業について
2. 高学年の学童保育の実施を
- 小川 雄司 議員 1. 高齢者施策の拡充について
2. 通行車両に対する騒音自粛を求める啓発看板の設置と防犯対策の強化を
- 伊藤 幸男 議員 1. 吉見墓地の拡張について
- 中川 達夫 議員 1. いじめ問題について

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。

次回の定例議会での一般質問は12月6日に
実施する予定です。
みなさんぜひ傍聴にお越しください。



大門 久恭 議員

問 吉見ノ里踏切り拡幅の 進捗状況は

答 南海電鉄に事前協議書を提出している

問 以前、議会で車や自転車と歩行者を区別するよう南海電鉄と協議を行い避難道路として、整備するべきであるという意味の質問をした。6月の一般質問では“今年度は南海電鉄側との覚書の締結に向けて取り組んでまいりたいと考えています”との回答だった。あれから3ヶ月が経過したが、これまでのようにゆっくりやってもらったら困る。原町長も施政方針で進めると言っている。再度問うが現在の協議状況及び今後のスケジュールを求める。

答 吉見ノ里駅は田尻町の玄関口であることから、駅前に小さいながら広場等を設置することで合意を得ている。今後は事前協議の回答を南海電鉄からもらった後、

請書や覚書などの書類をかわすことにより、平成25年度から測量を実施する。

歩道幅員については、福祉のまちづくりや道路法の基準に適合する範囲内で駅舎に道路がかからないように縮小するなどの協議を進める。

平成26年度以降には、踏切り拡幅工事及び駅前整備工事を実施して約3年で事業の完成を目指す。





吉開 育子 議員

問 福祉風呂の存続を求める

答 できる限り続けたい

問 福祉風呂のボイラー設備は点検修理をしながら、14年が経過している。修理費用との兼ね合いで、あまり費用がかさむようなら本体を交換したほうがいいということになると思える。ボイラー本体の交換時期を見極めて、福祉風呂を安定的に運営することが必要と考える。福祉風呂の存続について町長の見解を求める。

答 福祉風呂のボイラーは、燃料にガスを使用しているので汚れが少ないため、点検ごとの部品交換や修理をこまめに行うことで今後も安定して継続していくことは可能である。また、業者によると耐用年数は20年ぐらいと聞いている。今後、設備の復旧が困難になれば費用的効果を考え、大きな改修の必要性を判断する。お年寄りにとって、福祉風呂は憩いの場であり、

健康維持の場になっていることは十分認識している。今後、年に1回きちっと点検をして、できる限りの範囲で続けていきたい。

問 施設の拡充で高学年の学童保育を

答 新たな施設は考えていない

問 私は、6月議会で小学6年生までの高学年保育を求め、まずは泉佐野市でも実施している小学4年生まで長期休業だけでも実施を求めた。町長は「教育長と教育委員会ともう一度話をして、どこが問題でどうすれば預かることができるのか、4年生に限りですが話をしていけるかなと思う。」と答えた。まずは、泉佐野市と同様に4年生までの実施を求める。町長は女性の社会進出しやすい環境づくりを公約に掲げている。それを実現するために施設を拡充し、保護者が安心して働ける体制をつくるべき。

答 6月議会では4年生だけはと話したが、その後、人数のことを聞いたら、今の施設で希望する4年生全員預かるのは安全面で不可能である。新たな施設は考えていない。



小川 雄司 議員

問 買い物や通院時などの介助や送迎を

答 社会福祉協議会と連携し考えたい

問 高齢者施策やサービスに対するニーズ調査では、買い物や通院時などの介助や送迎を要望する人が42.9%をしめて最上位だった。

平成20年まで町が実施していた外出支援サービスは、法令の変更により、中止された。介護保険利用者は有償運送がある。しかし、介護保険対象外の高齢者への支援策がない。介護保険料の負担をふやさないためにも送迎サービスの復活が必要である。

答 町だけで無理なところは、社会福祉協議会等とも連携を取り合って、何ができるのか、もう一度考えていきたい。

問 コンビニから駅までの騒音や防犯対策を

答 順時対応している

問 今年2月に共産党議員団が実施した町民アンケートへの回答で「コンビニと旧26号線から駅までのバイクや車の騒音でとても不安」また「アパートがふえたのに防犯措置がない」と要望が寄せられた。「田尻町安全・安心で快適な生活環境の整備に関する条例」にもとづき善処することを求める。

答 昨年「吉見ノ里駅上のコンビニに夕方から夜中にかけて人がたむろしてうるさい」との苦情があり、泉佐野警察署の防犯係に依頼し、重点パトロールの実施・コンビニ経営者に苦情対応をお願いした。

また、今年3月には、駅上にLED防犯灯の設置、駅上広場に防犯カメラを設置した。



伊藤 幸男 議員

問 吉見墓地の拡張を

答 隣接地主と話し合いを進めたい

問 平成21年7月に、吉見墓地の使用区画がなくなりました。それで平成21年12月に私が一般質問したが、すでに町が既存墓地内の空地の有効利用に向けて取り組んでおり、平成22年12月には20区画が整備されたが、現在では残り2区画となっている。早急に隣接の地主にお願いして、拡張すべきである。

答 現在の墓地区画残数は、吉見2区画、嘉祥寺39区画となっている。近年墓地使用許可申請の件数は、吉見、嘉祥寺合わせて1年間で13区画程度である。このペースで使用許可が行われれば、平成27年度中には、空き区画の墓地はすべてなくなる。本町としても地元で墓地区画を確保したいという、住民ニーズは承知している。遅く

とも平成26年度中まで、今後の墓地のあり方について、町の方針を決定し、なるべく早いうちに、地主と話し合いを進めていきたいと思っている。



中川 達夫 議員

問 いじめ問題について 教育委員会の所見を問う

答 未然防止と早期発見を徹底している

問 大津市で私立中学校の生徒がいじめにより自殺するという事件があった。この事件では教師が校内で何度もいじめを見逃してきたということが問題となっている。本町の学校において、いじめ問題についてどのような取り組みを行っているのか、また、学校に対してどのような指導を行っているか、いじめ問題について、教育委員会の所見を問う。

答 学校においては、日々の学校生活の様子や児童・生徒との面談等を通じて、いじめ等を把握するように努めているとともに、あいさつ運動をはじめ人権尊重や心の教育の充実を図り、お互いを尊重し合える集団づくりに取り組んでいる。また、教育委員会としては、いじめは

どの学校でも、どの子にも起こり得る問題であることを認識して、日頃からいじめを許さない学校づくりに努め、未然防止や早期発見に向けた取り組みを徹底するよう指導している。

特に、教師達が学校現場で子どもたちの変化を見つける感性を高めるよう指導している。



委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 仁 部 順 行

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(9月10日開催)

◎田尻町暴力団等排除条例制定の件

(条例の制定) 【賛成3、反対1で可決】

問 田尻町の条例だけを広報に載せても、内容が分りにくいと思うが、町民への情報伝達の手段は、どのように考えているのか。

答 町民への周知については、町のホームページや広報に掲載する。内容については、暴力団を排除する基本的な考え方や今回の条例制定の趣旨、町の役割やどんな住民の協力が必要となってくるかなど、できるだけ分かりやすい広報の仕方を警察と協議しながらやっていきたい。

反対討論 本案に関しては、住民に周知しない面と当然条文に明記すべきものは明記した方が住民にとって分かりやすいと思うので反対である。

賛成討論 この条例を上程するにあたっては、警察とも十分協議して、条文を作成していると思うが、議案審議の中では条文が完全ではないという委員の意見もあった。しかし、この条例を可決しない限り不当要求をしてくる相手に対して対応することができないことから、この条例の制定には賛成である。

◎田尻町手数料条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 今回の条例改正で「認可地縁団体」という名称が出てきているが、これはどのような団体が該当するのか。

答 本町では、吉見地区会、嘉祥寺地区会、りんくう地区会が該当する。

◎泉州南消防組合の設置に関する協議の件

(消防組合設置に関する協議) 【賛成3、反対1で可決】

問 平成25年3月31日より、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町の3市3町で消防組合を設置するということだが、この広域化によって消防力は強化されるのか。

答 消防の広域化は、消防力を低下させることなく災害時における初動体制の強化などにより、住民サービスの向上を図っていくためのものである。なお、田尻出張所については、広域消防運営計画の署所配置基本方針に広域化後も配置すると明記している。

反対討論 消防の広域化は、果たして消防力が強化されるのかという点で審査したが、当局からはそれに対応できる資料の用意ができていないことや適確な答弁がなかったと思う。また、本町で火災が発生した場合、第1出動が泉州消防署になる可能性や、消防職員の指揮の低下、合理化の下での人員の削減、消防ポンプ車の台数の削減などの危険をはらんでおり、広域化の方向では賛成することができない。

◎平成24年度田尻町一般会計補正予算(第2号)の件
(8,886万4千円の増額) 【全会一致で可決】

問 財政調整基金積立金が1億500万円計上しているが、これにより財政調整基金の残高はどうなるのか。

答 今回、1億500万円を基金に積み立てることにより、財政調整基金の残高は約33億8,000万円となる。

文教厚生常任委員会

委員長 高 木 謙 治

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(9月11日開催)

◎田尻町育児支援事業の実施に関する条例制定の件

(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 町長は昨年12月の町長選挙で3歳児保育の復活を公約に掲げられていたが、今回の育児支援事業がこれにあたるのか。

答 今回の育児支援事業の経緯については、幼稚園3歳児保育の再開に向けて検討したが、保育環境の確保ということで、継続的に安定した保育の実施という部分の課題整理ができなかった。しかし、現有施設を有効活用していくという方針の中で、新たな事業展開ができないかと模索した結果、キッズルームにおいて、3歳児の預かり事業の実施ということで、今回条例提案をしている。

◎平成24年度田尻町一般会計補正予算(第2号)の件
(8,886万4千円の増額) 【全会一致で可決】

問 学校給食調理業務委託として平成25年度から平成29年度までの期間で限度額1億円の債務負担行為が計上されているが、食数や調理員の人員については、どのように考えているのか。

答 前回の契約食数については、850食であったが、現在の実数は914食であり、今回の契約食数については、950食を見込んでいる。また、調理員の人員については、現行の契約では6人以上となっているが、食数の増加や国の衛生基準が強化されたことから、今回8人以上で契約したいと考えている。

◎平成24年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の件

(151万5千円の増額) 【全会一致で可決】

◎平成24年度田尻町介護保険特別会計補正予算（第1号）の件

（537万6千円の増額） 【全会一致で可決】

◎田尻町立中学校の野球部復活を求める請願

（野球部復活を求める請願） 【全会一致で採択】

問 野球部の復活の件については、過去にも数人の議員が一般質問を行っているが、一向に進んでいない。理事者としては、この件をどのように考えているのか。

答 田尻中学校に野球部を設置するためには三つの課題があると認識している。まず一点目は、顧問体制の整備である。日常の部活動はもちろんのこと、対外試合、練習試合等であっても、監督・審判、会場のグラウンド準備及び整備、そして、子どもたちの引率などの業務があるため、3名の教師が必要となってくる。二点目は、活動場所の安定的な確保である。現在、中学校のグラウンドにおいては、陸上部・テニス部等が活動しており、この場所に野球部の活動場所を確保することは難しい状況となっている。また、潮風グラウンドについては、社会体育施設であるため、野球部の活動時間である午後3時から午後6時までの時間帯と休日の施設の利用状況を調べた結果、利用率は82%から94%となっており、野球部が優先的に使用することが難しい状況となっている。三点目は、子どもたちの部活動を含めた安全確保ということで、日々の練習以外に、試合・引率、また学校を離れた場合における活動など、安全に対する保証を第一に考える必要がある。また、野球の指導という面では専門性が要求され、審判の講習や中体連の加盟等を考慮した中での顧問の確保が重要となってくる。

これら三点の課題をそれぞれ関連させて整理していくことが最低限必要である。教育委員会としては、請願内容や議会の判断を真摯に受け止め、子どもたちの思いにどのような形で応えることができるのかを、これから調整していきたいと考えている。

決算特別委員会

委員長 坂口 実

決算特別委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。（9月13、14日開催）

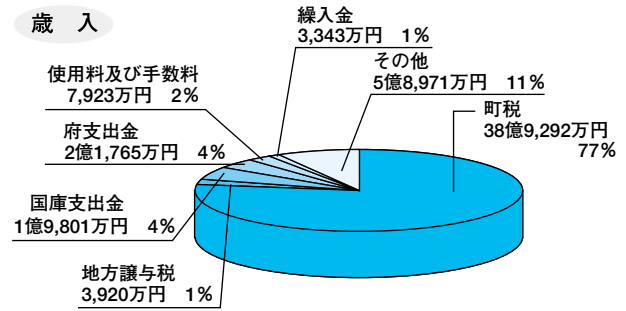
◎平成23年度田尻町一般会計決算認定の件

【賛成7、反対2で可決】

歳入

問 予算委員会で空港の2期島そのものの固定資産税収について約3億円は見込めるという話があったが、どのように進んでいるのか。

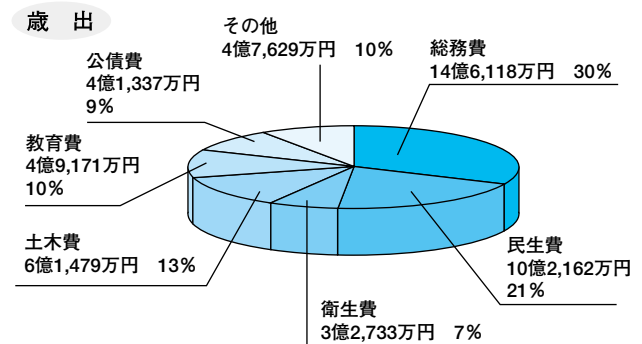
答 固定資産税が増える要因として、LCC関連で約2億円と、今度の新しく竣工された部分の約1億円で約3億円というふうに見込んでいる。



歳出 総務費

問 防犯カメラ設置工事と、LED防犯灯設置工事についてどんな計画で進められることになっているのか。

答 防犯カメラは大阪府、泉佐野警察署とともに協議し、今年の3月に町内に10カ所、16台を設置した。LEDの防犯灯については、昨年21灯つけた。その他の防犯灯についても、基本的に順次LED化していくということで、協議をしている。



民生費

問 子ども医療費助成事業について、中学校3年生まで拡大したことについて、詳細な報告を。

答 子ども医療の助成については、平成23年の7月から、対象を小学校3年生から中学校3年生まで引き上げた。件数としては、22年度が1万1,706件、23年度が1万4,797件で391件増加している。月平均では、22年度は834人が対象者で、23年度が1,136人という状況になっている。

衛生費

問 この4月に妊産婦健診の拡大をしたが、来年度から全額無料という方向に持っていくという考えはあるか。

答 平成24年度から超音波検査、エコー検査を4回実施し、1人当たりの金額も約7万5,000円になっている。大阪府下市町村の平均が約6万7,000円で、泉州地域との比較をしても、本町は結構充実しているの、今ところこれ以上の充実項目、充実回数を上げるということはない。

労働費

問 平成23年度の就労支援講座の内容と実績はどのようになっているのか。

答 医療事務の講座を実施した。10名の方が受講され、5名が資格を取得し、これにより就職された方は3名である。

農林水産業費

問 地籍調査の進捗状況とこの調査の意義はなにか。

答 現在は約76%の範囲を整備しており、残り約10年で完了予定である。この調査は非常に重要な事業で、震災発生後の復元が容易になるとされており、また、個人で境界を決める場合20~30万の金額が必要となるが、町の場合は国と府の補助をもらいながら整備している。

商工費

問 観光案内板作成の効果はどのようなものか。

答 観光案内板は吉見ノ里駅の改札口付近に1枚と、漁港の広場の入り口に1枚設置しており、初めて来訪する方にとってすぐれた道案内になっていると考えている。

土木費

問 本町に50年以上たっている橋が3つあるが、町として何か対策は。

答 3つの橋について町としては今すぐ安全面に問題があると考えていないので、予算の中で点検と修繕を積極的に行っていきたい。

消防費

問 災害時の備蓄品は充足しているのか。

答 現在、一定の量は確保しているが、口にすることは賞味期限があるので、切れていくものが順次出てくるため、計画的に補充を考えている。

教育費

問 警備委託料について、主な警備内容はどんなものか。

答 機械警備と有人警備があり、機械警備は校舎の中に機械を設置して、異常があれば通報するというシステムで、有人警備の方は、夜間の決まった時間帯に3回来て、校舎の周りを点検して異常がないか確認して帰るという作業と聞いている。

反対討論 中学校3年生までの医療費助成制度の拡充や小学校のエアコン設置については高く評価するが、町営住宅の建て替えを望む住民の声を無視して、町営住宅跡地を売却したことは容認できない。また、経済状況の悪化によって、学童保育等の要望が強まっているが、そこに目を向けていない。

賛成討論 今回、各委員から様々な要望があったが、次の予算に反映してほしい。また、慎重審議を行った結

果、適正であると認められるので、賛成する。

◎平成23年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算認定の件 【全会一致で可決】

問 医療費を下げるためにメタボ検診は有効なのか。

答 メタボ健診は、腹囲や糖尿病の関係、高血圧や動脈硬化に特定した健診なので、予防的見地、医療費の抑制という見地からすれば、受診率の向上や該当者に特定保健指導という形で受けていただくというのが、有効と考える。



◎平成23年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件 【全会一致で可決】

問 平成23年の1月末現在では75歳以上の後期高齢者は883人だが、現状では何人いるのか。

答 平成24年3月末現在で847人である。

◎平成23年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件 【全会一致で可決】

問 年々需要が増加しているCSW（コミュニティソーシャルワーカー）を町で雇うという考えはないか。

答 現在は賃金の面で難しいと考えており、採用するという考えはない。しかし、今後忙しくなることが予想されるので、必要なら時期を見て検討する。

◎平成23年度田尻町下水道事業特別会計決算認定の件 【全会一致で可決】

問 本町の設備はゲリラ豪雨などへの対応が万全か。

答 本町は幸いにも55ミリ以上の降雨はないが、温暖化等により、大きな台風が来る可能性は多大であると考えている。現施設は55ミリ対応で、その機能の能力の100%を確保ということに重点を置き、適正な維持管理環境の浚渫等を行い取り組んでいきたいと考えている。

また、吉見ポンプ場は24時間運転管理しているため、夜間において20ミリ以上降れば、担当課長等に連絡がくるようになっており対応の強化を図っている。



◎平成23年度田尻町水道事業会計決算認定の件 【全会一致で可決】

問 未処分利益剰余金について、減債積立金を3,000万円を差し引いても9,400万円残るがどうするのか。

答 剰余金を利用し、水道料金の値上げ等に影響しないようにすることや老朽管等の更新に取り組んで財政運営をしていきたいと考えている。

意見書・請願

意見書 ◎地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

全会一致で可決

趣旨

地球温暖化防止のため「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みを早急に構築すること等。【一部抜粋】

提出者：小川 雄司 賛成者：中川 達夫

提出先：衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／財務大臣／総務大臣／国家戦略担当大臣／農林水産大臣／環境大臣／経済産業大臣

請願 ◎田尻町立中学校の野球部復活を求める請願

全会一致で可決

趣旨

田尻町立中学校の野球部復活を求めること。【一部抜粋】

紹介議員：仁部 順行、坂口 実、明貝 一平

この人にインタビュー

田尻町立公民館利用者連絡協議会 会長

なが い けん じ
永 井 鍵 次さん (68)

田尻写真クラブでは講師を務められ、また油絵教室にも通っているという永井鍵次さんにお話しをお聞きました。

Q 現在の協議会構成団体数や組織内容は？

A 今年度は32団体で、協議会委員を選任して会議を進めている。活動では企画部や広報部を編成して運営している。

Q どんな事業をしていますか？

A 最大のイベントは「公民館まつり」で、その他にも年1回の「バス研修会」や広報紙「たん」とを年4回発行している。

Q 協議会の運営で難しいことはありますか？

A 最近では使用料の見直し等で苦労した。使用料が免除から半額負担になったのは当たり前だと感じているが「クラブ員が5名以上でないと認めない」や「半数以上の町民」などの減免要件が厳しく、解散したクラブも出たほどだった。この点については是非とも再考して戴きたい。

Q 今後の課題などはありますか？

A 田尻町文化協会が設立され、協議会との関係がどうなるのか不安。それに各クラブの平均年齢も高くなってきているので、クラブ数の減少も考えられるだろう。しかし、生涯学習の拠点となる公民館を頑張って応援していきたい。



田尻議会の チョット教えて

!

請願ってナニ??

A

請願は、町民の皆さんが町政等について持たれている要望や意見を、法律等の定めにしたがって議会に提出していただくものです。その提出にあたっては、紹介議員が必要であり、受理された請願は委員会で審査をした後、議会としての結論を出しています。

福岡県新宮町議会が来町

去る10月18日、福岡県新宮町議会の総務常任委員会が「財政健全化を目指した主要施策について」視察研修で来町されました。

